

第2期松原市まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

基本的な考え方

《策定の趣旨》

- 平成28年3月「松原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：平成27年度から平成31年度）を策定し、地方創生に向けた取組を推進してきました。
- 国が策定した「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」において、次期総合戦略の策定を進める必要があることが示されました。
- 本市は、第1期総合戦略の計画期間を1年間延長したうえで、令和元年12月に閣議決定された国の第2期総合戦略、令和2年3月に策定された大阪府の第2期総合戦略を勘案しつつ、令和3年度からスタートする「第2期総合戦略」を策定します。

《総合戦略の位置づけ》

- 国及び大阪府が定める総合戦略を勘案しつつ、令和22（2040）年を目標年次とする松原市人口ビジョンのもと、松原市の実情に応じた地方創生の基本目標を示し、これを実現するため、今後6年間に集中的に取り組むべき施策展開の方向性を示す。
- 本市の最上位計画である松原市第5次総合計画が掲げるまちづくりの基本的な考え方や将来像などの市としての普遍的な方向性や松原市第5次総合計画基本計画に位置付けられた施策等との整合を図る。

《計画期間》

- 令和3（2021）年度から令和8（2026）年度まで（6年間） ≪第5次総合計画の終期にあわせる。≫

松原市の現状と課題

《第1期総合戦略の基本目標の状況》

- 基本目標1：生涯を通じて「安心」して暮らせる「まち」をつくる**【成果指標】本市の犯罪認知件数 0件
⇒本市の犯罪認知件数は、年々着実に減少を続け、5年間で約900件減少しました。
- 基本目標2：生涯を通じて「健やかに」暮らせる「まち」をつくる**
【成果指標】1000人市民アンケートによる自分の健康状態が普通以上と感じる割合 80%
⇒1000人市民アンケートによる自分の健康状態が普通以上と感じる割合は、基準値や国の健康意識調査の結果（73.7%）【平成26年2月実施】とほぼ変わらない状況です。
- 基本目標3：結婚・出産・子育ての希望をかなえ、未来を担う「ひと」をつくる**
【成果指標】20歳から39歳までの人口区分における本市転出超過人数 0人
⇒20歳から39歳までの本市転出超過人数は、平成30年度については、56人と大幅に減少したものの、それ以外の年度では200人以上となり、目標値には届いていません。
- 基本目標4：強みを生かし、若者の働く意欲に答えられる「しごと」をつくる**
【成果指標】本市の事業者に係る「厚生年金保険の被保険者数」 17,632人
⇒本市の事業者に係る「厚生年金保険の被保険者数」は約1,500人増加し、目標を達成しました。

《現状から見た課題》

【自然動態】

- 老年人口（65歳以上）が今後ますます増加していく見込みであり、それに伴い、死亡数も増加傾向となることから、今後も自然減が続くと考えられます。
- 本市の合計特殊出生率^{※1}は1.34となっており、全国及び大阪府の平均を下回り、人口規模を長期的に維持するために必要な水準からも大きくかけ離れている状況です。

【社会動態】

- 20歳から29歳までの人口区分における転出超過が、依然として続いている状況です。
- セーフコミュニティ活動等の取組の成果である刑法犯罪認知件数の減少や、企業立地促進制度をはじめとした取組による、本市の事業者の厚生年金保険被保険者数（従業員数）の増加など、地方創生に係る個別施策については、着実に成果が表れているものの、若い世代の転出超過を解消するまでに至っていない状況です。

ターゲットと基本目標

《ターゲット》

- 市内外の20歳から39歳までの若い世代とします。
- 特に、女性の多様な働き方や暮らし方を支援することで、出生率の向上やさらなる人口の流入が期待できることから、若い世代の希望をかなえる施策を引き続き行っていきます。
- 新型コロナウイルス感染症に起因する雇用への影響も懸念される中、雇用を守るための対策を講じるなど、総合的に施策を展開していきます。

《基本目標》

【基本目標1】

生涯を通じて「安心」して暮らせる「まち」をつくる

成果指標	目標値	基準値
本市の街頭犯罪認知件数	169件（R8）	422件（R1）
本市の交通事故発生件数	360件（R8）	522件（R1）

【基本目標2】

誰もが「健やかに」暮らし、若い世代が結婚・出産・子育ての希望をかなえ、未来を担う「ひと」をつくる

成果指標	目標値	基準値
健康寿命 [※] （日常生活動作が自立している期間）	延伸	男性:79.1歳 女性:83.2歳
出生者数 （住民基本台帳に基づく年間の出生者数）	896人 （計画期間における年平均）	801人 （R1）

※ここで記載している健康寿命（日常生活動作が自立している期間）は、要介護認定者数から算出した要介護2以上になるまでの期間。（大阪府健康医療部健康推進室提供）

【基本目標3】

多様な「魅力」の創出と若者の働く意欲に答えられる「しごと」をつくる

成果指標	目標値	基準値
市内従業者数	維持（R8）	43,740人（H26）
20歳から39歳までの人口区分における本市転出超過人数	0人（R8）	213人（R1）

《横断的な目標》

- Society5.0^{※2}の推進
本市としましては、Society5.0の実現に向け総務省が定めるオンライン利用促進対象手続の対象項目のオンライン化を進めます。
- SDGs^{※3}の理念に沿った地方創生の推進
第2期総合戦略では、SDGsの理念を取り入れ、17の目標のアイコンを活用し、基本目標等がSDGsのどの目標に関連しているのかをマッピングし、視覚的に分かりやすく示します。

横断的な目標

（2）SDGsの理念に沿った地方創生の推進
（1）Society5.0の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※1「一人の女性が15～49歳までに産む子供の数の平均」、※2「全ての人とモノがインターネットに繋がる社会」、※3「2030年までの持続可能な世界を実現するための17の国際目標」